

## 地方創生加速化交付金 事業成果報告書(案)

事業名	事業実績額	事業担当課	単独・広域
有明海共生対流新産業創出事業	39,874,640円	農林水産課	単独
ひとが輝くまちづくり 人材発掘・育成プロジェクト	18,752,776円	政策企画課	広域 荒尾市、玉東町 長洲町、和水町
「明治日本の産業革命遺産」 インタープリテーション推進事業	2,584,000円	産業振興課	広域 「九州・山口の近代化産業遺産群」世界遺産登録 推進協議会(8県11市)
( 合 計 )	61,211,416円	—	—

# 有明海共生対流新産業創出事業

◆安定した雇用を創出する

## 背景

- ラムサール条約湿地である「荒尾干潟」は、ノリの養殖やアサリの採貝などの漁業振興に加え、野鳥観察やマジック釣り大会、教育旅行の誘致などによる観光振興など、本市の産業振興に幅広く活用されている。
- 漁業面については、貝殻等の堆積や干潟の泥の堆積、有害生物の増加などによる生育環境の悪化により、アサリの漁獲量の減少が著しく、漁業者の所得も低下しており、対策が急務になっている。

## 事業の概要

- 現在産業廃棄物として処分している荒尾干潟に堆積した貝殻を、漁場の土質改善剤として製品化することを目的に、研究・開発を行った。(カキの貝殻は、粉碎・焼成することで土壌の酸化を改善するという研究結果があり、アサリの貝殻でも同様の効果が期待できる。)
- 開発した土質改善剤は荒尾干潟に散布し、それにより漁場環境を整え、漁獲量の増加を図った。また、貝殻を土質改善剤に加工して活用するという循環型エコ事業としてのビジネスモデルの今後の可能性を検討した。
- 貝殻を加工する際の熱エネルギー源として、荒尾干潟沿いの松並木の枯損木を利用し、域内経済循環を図った。
- 荒尾干潟におけるレジャー的な体験プログラムを教育的なエコツーリズムに繋げるためインストラクターを養成した。

## KPI(重要業績評価指標)

- 採貝漁業者数 【目標値】 10人増 → 【実績値】 34人減
- アサリ漁獲量 【目標値】 10t → 【実績値】 8.5t(約80kg増)
- 教育旅行の誘致数 【目標値】 2校 → 【実績値】 0校
- 土質改善剤利用量 【目標値】 10t → 【実績値】 調査中

## 事業費

39,874,640円

# 事業の実績

○荒尾干潟に貝殻が堆積  
→荒尾干潟の景観を損ねている状況  
「資源として何か活用できないか…？」



## 有明海資源活用推進協議会

会長：荒尾漁協組合長

熊本県水産課、荒尾漁協、  
熊本北部漁協、長洲町、荒尾市

### 《水産業振興×干潟保全》焼成貝殻による土質改善

干潟に堆積している貝殻を焼成し、漁場の土質改善剤として加工したものを、漁場に散布し、干潟環境の改善と水産業振興を図った。



### 《水産振興×海岸保全》支障木の熱エネルギー活用

土質改善剤を製作する際、海岸周辺に存在する枯松及び支障木を熱エネルギー源として活用し、継続性や効率性について検討した。



### 《環境保全×観光振興》有害生物活用&インストラクター養成

堆積した貝殻などの未活用資源の活用やナルトビエイなどの産業廃棄物の再利用による域内経済循環のモデルケースを構築することで、環境教育やエコツーリズムとして観光面での魅力向上に繋げた。



#### ○インストラクター養成



# ひとが輝くまちづくり 人材発掘・育成プロジェクト

◆新しいひとの流れをつくる

## 背景

- 荒尾玉名地域は、福岡・熊本都市圏をはじめ九州各都市とのアクセス条件に恵まれており、有明海や小岱山といった豊かな自然が生み出すバラエティ豊かな産物にも恵まれた地域である。また、ラムサール条約湿地である荒尾干潟や世界文化遺産の万田坑、江田船山古墳などの古代遺跡など、歴史・文化資源も豊富であり、特色のある市町が集まった地域でもある。
- 全国的に人口が減少する中、これまでも単独自治体で移住対策を推進してきたが、認知度不足もありなかなか効果が上がっていない。

## 事業の概要

- 歴史・文化や生活圏の結びつきが強い地域で連携し、各市町がもつ地域の強みを活かし、人材不足などの弱みを地域間で補完し合いながら、各地域のニーズと移住希望者のニーズを広域的にマッチングする仕組みを構築した。
- 荒尾市では、医療・介護事業所と協力し、都市部で開催される看護・介護職向け就職相談会に出展し、住みやすさや働く魅力のPRを実施した。さらに、移住・就労検討者に対しては、市内案内や介護・医療機関の施設見学などのサポートを行い、移住と就労を推進した。
- 空家の利活用促進と移住検討者の住まいの選択肢の一つとして情報提供できるよう、空家バンクを開設し、市HPや広報紙等で周知を行い、登録物件の増加を図った。

## KPI(重要業績評価指標)

- 空家バンク登録件数 【目標値】 10件増 → 【実績値】 8件増
- 移住世帯数 【目標値】 10世帯増 → 【実績値】 1世帯増

## 事業費

18,752,776円

## 事業の実績



荒尾市 「まち暮らし」

長洲町 「海暮らし」

和水町 「田舎暮らし」

玉東町 「田舎暮らし」

**地域の強みを活かし、移住者のニーズに合う幅広い選択肢を用意**

## 荒尾市地域保健医療福祉推進協議会

保健・医療・福祉を総合的に推進するために設立。  
荒尾市三師会、社会福祉協議会、荒尾市などで構成。

### 看護・介護職向け就職相談会への出展

市の成長エンジンである「医療・介護産業」において、人材確保と移住者誘致のため、市内事業所の職員とともに都市部で開催される相談会に出展し、就労と移住を推進した。



### 「ふるさと回帰フェア」への出展

1市3町で連携し、地域の特徴や暮らしやすさ等を移住検討者に情報発信することで、移住を推進した。



### 移住定住促進パンフレットの製作



# 「明治日本の産業革命遺産」インタープリテーション推進事業

◆安定した雇用を創出する

## 背景

○観光資源として高い魅力を有する世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」は、8県11市に分布した23の資産で構成されており、資産ごとのつながりや同一の歴史的ストーリーの中でその資産の説明を行うことにより、各資産の価値・資産全体の価値をより魅力的なものにすることができる。

## 事業の概要等

○歴史的背景を含めた資産間でのつながりを統一的に説明するコンテンツが搭載されたスマートフォン向けのアプリケーションを開発し、バリエーションの拡大によるコンテンツの充実と、アプリケーション利用者数の増加を図るための利用促進ツールを併せて作成することで、エリア間の交流人口の増加を図った。

○スマートフォンを所有していない方に対しても資産の正確な価値を伝えるため、DVDなどの映像ツールを作成することで、統一的なインタープリテーションを確立し、情報発信と受入態勢の充実を図った。

## 事業費

2,584,000円

## KPI(重要業績評価指標)

- 連携する11市の観光客総数  
【目標値】 300万人増 → 【実績値】 調査中
- 連携する11市の外国人観光客総数  
【目標値】 17.5万人増 → 【実績値】 調査中

